

地域再生計画評価調書（令和7年度）

■大阪市地域再生エリアマネジメント計画

●大阪駅周辺地区における数値目標及び目標達成度

評価指数 (KPI)	事業開始前	2019年度 増加分 (1年目)	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度								2025年度KPI達成状況及び分析	
			2020年度 増加分 (2年目)	2021年度 増加分 (3年目)	2022年度 増加分 (4年目)	2023年度 増加分 (5年目)	2024年度 増加分 (6年目)	2025年度 増加分 (7年目)	2026年度 増加分 (8年目)	KPI増加分 の累計		
目標1 エリアマネジメント団体の新規法人化	目標	—	1	0	0	0	0	0	0	0	1	今年度新たに法人化されたエリアマネジメント団体はないが、すでに目標以上の団体が法人化していることから、大阪駅周辺地区においてエリアマネジメント活動が活性化されていることが伺える。
	実績	1	2	1	0	0	1	0	0	0	4	
	達成度										400%	
目標2 都市再生推進法人の新規指定	目標	—	0	0	1	0	0	0	0	0	1	今年度新たに都市再生推進法人に指定された団体はないが、すでに目標を達成していることから、大阪駅周辺地区におけるエリアマネジメント活動が活性化されていることが伺える。
	実績	1	0	0	1	0	0	2	0	0	3	
	達成度										300%	
目標3 歩行者通行量の増加 (人) <small>※1</small>	目標	—	—	15,000	5,000	800	800	800	800	800	24,000	歩行者通行量は増加傾向にあり、賑わいの回復傾向がみられる。
	実績	—	—	▲ 34,000	13,500	14,500	1,000	▲ 4,500	9,000	—	▲ 500	
	達成度										0%	
目標4 大阪駅周辺地区における 商業施設等の売上高の増加 (千円) <small>※2</small>	目標	—	—	75,000	25,000	—	—	—	—	—	100,000	令和3年度のイベントへの参加者アンケート調査の結果、大阪駅周辺地区での消費額は1人当たり平均約6,600円であり、今年度のイベント来訪者が14,091人であることから、商業施設等の売上高は約93,001千円であると見込まれる。今年度は、イベント当日の悪天候により、イベントへの来訪者数に大きな影響が生じ、昨年度と比較して減少している。
	実績	—	—	64,092	29,073	4,158	25,839	396	▲ 30,558	—	93,000	
	達成度										93%	
目標5 大阪駅周辺における 地域来訪者等利便増進活動計画(案) に対する想定受益事業者の同意率 (%)	目標	—	—	—	67	—	—	—	—	—	67	昨年度に引き続き、大阪駅周辺地区地域来訪者等利便増進活動計画における受益事業者の同意率は100%であった。今後も大阪駅周辺地区において、さらなるまちの活性化が期待される。
	実績	—	—	—	—	100	0	0	0	—	100	
	達成度										149%	

※1：地方創生推進交付金事業開始前の通常時歩行者通行量：63,000人

※2：目標値及び実績値は前年度からの増加分

●評価年度において実施した事業

<p>■事業名称 梅田あるくフェス2025</p> <p>■開催期間 日程：2025年10月1日(水)～10月31日(金)</p> <p>■会場 大阪梅田各所</p> <p>■事業内容</p> <p>○イベント内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 「てくてくわくわく 梅田日和」をテーマに、「ココロ」、「運動」、「食」などの視点から歩くことをきっかけに心や体、そして暮らしも心地よくアップデートさせる。 ①まち巡りラリー(10月1日～10月31日) スマートフォンを利用し、梅田エリア特設会場を含む11箇所に設置されたラリーポイントを巡り、ポイントを集めるウォークラリーの開催。 ②あちこちぼ活(10月1日～10月31日) 梅田エリアの企業と連携し街の賑わいを創出し人の交流・活性化を図る。 ③まちなかミュージアム / 会場：JR大阪駅南側歩道(10月11日、12日) 「ココロ」の健康をテーマとした、体験型コンテンツやステージイベントを実施。 ④アクティブフィールド / 会場：大阪梅田ツインタワーズ・サウス北側歩道(10月11日、12日) 「運動」や「身体」の視点から、身体を使った測定等の体験型コンテンツを実施。 ⑤Autumnマーケット / 会場：阪急サン広場(10月11日、12日) 「食」の観点から、健康やキレイへとつながる多彩なお店が集まるマルシェを展開。 <p>○調査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺歩道の歩行者交通量調査 事業開始前と同一箇所での各会場イベント開催日(10月11日、12日の2日間)の歩行者通行量を測定。 来訪者アンケート調査 調査項目 梅田地区への来訪頻度、よく立ち寄る商業施設、買い物・飲食の出費額等について、梅田あるくフェス参加者を対象として実施。

●評価年度における事業の結果

<p>■イベント結果</p> <p>来訪者(計測方法：各イベント会場での計測の合計)：14,091人</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント参加企業、団体との連携 参加・協力団体：33団体(116名) 地域連携 大阪府健康づくり支援プラットフォーム整備事業等である、大阪府民の健康をサポートするアプリ「おおさか健活マイレージアスマイル」と連携し、アスマイルアプリ及びwebページで「梅田あるくフェス」の開催告知を行い、各会場のInfoブースではアスマイルのチラシ設置やイベント来場者へのアスマイルポイントのプレゼントなどを行った。 広報連携 以下の各媒体によりイベント情報を掲載。 ・00H・サイネージ等 30箇所 ・HPでの掲載 8社 ・SNS投稿 <p>■調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業開始前と同一箇所でのイベント当日の歩行者通行量(10時～19時の9時間交通量)：62,500人(前年度から9,000人の増) 来訪者アンケート調査サンプル取得数 梅田あるくフェス参加者を対象とした調査：698サンプル <p>■事業分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き今年度も新たにまち巡りラリーポイントを追加する等、昨年度からさらにイベント内容の拡充を行い、大阪駅周辺地区におけるイベント当日の歩行者通行量は増加した。 一方で、天候の影響でJR大阪駅時空の広場会場を中心とした、商業施設等の売上高見込が昨年度から減少した。 イベントの実施形式を今年度変更しているため単純比較はできないが、歩行者通行量は増加したものの、イベント参加者数の増加に繋がらなかったことから、来年度は歩行者をイベントに誘引する仕掛けや、情報発信・広報・告知の強化をはかる等の工夫が必要となる。 昨年度からアンケート収集方法の変更によりサンプル数が大幅に増加した。本事業の効果を明らかにするためにも、引き続き、こうしたサンプル数を確保する工夫に取組まれたい。
--

●評価年度における評価結果

<ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケート調査の結果として、今回のような健康イベント開催が定常化したら、「イベントに参加する」「梅田に行きたい気持ちが高まる」と回答した人は全体の約98%と昨年度に引き続き高い値となっており、事業の有用性は確認しているところである。 イベント参加者の高い満足度を保ちつつ、情報発信・広報・告知の強化等を行い更なる参加者の来訪を促すことで、今後より一層の地域価値の向上が期待できる。
--